

大野っ子



大野小学校だより
2022年11月22日
文責：校長 矢倉 信正

第45回全国育樹祭に参加

11月12日（土）・13日（日）に、大分県で第45回全国育樹祭が開催され、大野小学校みどりの少年団を代表して、5・6年生が参加しました。11月12日（土）は、豊後大野市の平成森林公園で行われたお手入れ行事に5・6年生が、13日（日）は、大分市の昭和電工武道スポーツセンターで行われた式典行事に、6年生の代表2人が参加しました。

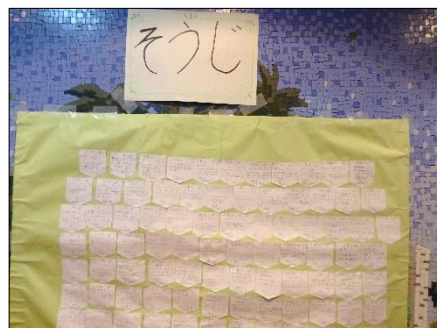
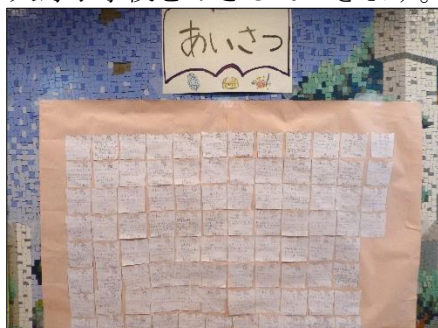
みどりの少年団の団服を着て、案内や説明、樹木の手入れや施肥のお手伝い、みどりの少年団の団旗を持って行進、苗木を他県の少年団へ贈呈する等の役割をりっぱに果たしました。子どもたちに聞いてみると、「緊張したけど、やったことは楽しかったし、いい経験になった。」と言っていました。このような全国的な行事に参加する経験は、あまりないと思います。よい思い出になったことでしょう。



あいさつ・そうじ・ふわふわことば ～大野小の宝物～

児童会の取り組みの一つとして、「あいさつ・そうじ・ふわふわことば（ことばづかい）」を大野小の宝物にして、もっと輝かせようという取り組みをしています。児童玄関を入ったところに、3つのコーナーを設け、友だちのよかったところを記入したカードを貼っています。

あいさつでは、いつも大きな声であいさつをしている、教室に入るときにみんなにあいさつをしている、立ち止まっておじぎをしておいさつをしている等が書かれています。そうじでは、しゃべらずに静かにそうじをしている、集中してそうじをしている、工夫してすみずみまでしている等が書かれています。ふわふわことばでは、大丈夫と声をかけてくれる、遊びにさそってくれる、ごめんねといってくれた等が書かれています。子どもどうしが、お互いのよさに気づき、認め合いながら、ともに成長し、輝いていく大野小学校をめざしていきます。



12月4日～10日は、「人権週間」です。1948年12月10日に、国連総会で「世界人権宣言」が採択されたことを記念し、12月10日を「人権デー」としました。日本では、毎年12月4日～10日を「人権週間」として、全国的に様々な啓発活動を行っています。

平和で、一人ひとりの人権が大切にされる世の中に！